

とうかいグッドトイ委員会 おもちゃ通信

2018年
4月号

ホームページ: <http://toukaigoodtoy.web.fc2.com/>

おもちゃ通信は会員同士の情報共有とつながりづくりを目的として発行する月刊通信です(^o^)

こんなおもちゃを見つけました

2つの迷路おもちゃ

迷路のおもちゃといえば、おもちゃイベントで使うブリオ社の「ラビリスゲーム」やグッドトイに選ばれた「メイズ」等を思い浮かべますが、小学生未満が遊ぶには少し難しさがあります。今回は幼児でも比較的簡単に遊べる迷路を見つけましたので紹介します。

一つ目はブリオ社「ポータブルラビリス」。ラビリスゲームの簡易版です。本体を左右に揺らしながらゴールを目指します。ブリオ社だけに色も作りもきれいです。価格は2,700円程度。ヨドバシカメラで見つけました。二つ目はジーナ社の



「いじわるラビリス」こちらはゴールまで玉を運ぶのにいくつものハードルがあり、ブリオ社のものより難しいですが、反面、年齢に関係なく楽しめます。価格は5,600円程度。krtek(クルテク)のHPで見つけました。

おもちゃエッセイ④

認知症予防に効果はあるの？

今や日本語としてすっかり定着した「認知症」。脳の細胞が萎縮・死滅することで、記憶障害や見当識障害など生活に様々な支障が出る脳の病気です。認知症に至る原因は様々ですが、残念ながら直すことはできないんです。しかし進行を遅らせたり、予防することは可能です。ではボードゲームや知育玩具などは認知症予防に効果はあるのか？医学的な検証はありませんが、私はあると信じています。認知症予防に必要なのは、十分な睡眠、人とのコミュニケーション、脳活性化運動、食生活の改善などです。おもちゃは脳を活性化する脳トレ的な活用もできますが、私はむしろ他人との交流を円滑にするツールとしての役割に期待しています。人と会話するとき脳は活発に働きます。楽しい雰囲気では会話はより弾みますよね。つまりおもちゃ遊びは認知症予防に貢献しているのです。

角さんの今月のゲーム

「パニックマンション」

メーカー：ブルーオレンジゲームズ（フランス）
年齢：6歳～プレイ人数4人プレイ時間：20分～

4月は新年度、出会いの季節ですね。私も面白いゲームに出会いましたよ！「パニックマンション」は一風変わった絵揃えゲームです。写真のような色々なコマが入った8つの部屋を各々手に持っています。よーいドンで一斉に始めて、カードに描かれているコマを指定の部屋にいち早く集めた人の勝ちです。どうやるのか？それはこの箱を実際に持ち上げて、揺らして傾けるのです！コマも一つ一つ重さや摩擦が違うので、思い通りいかなくて大苦戦！すぐ遊べてわかりやすく楽しいゲームですよ！



児童館活動ア・ラ・カルト(7)

熱田児童館の『作ってあそぼう』

絵本の時間、聞く、見る態度が良くなったこと、そして、製作では、おしゃべりが格段に少なくなり、真剣に取り組む姿になりました。どうしたのだからと考えました。変化の兆候は、12月「カレンダー」づくりから？この時、子どもの考えを実行できるようにスタッフが援助したことです。その後、自分の考えを伝えるようになり、落ち着いてきました。自分の気持ちを今まで伝えることができず、いろいろな場面でもやもやしていたのでしょう。正直、この子は褒められるよりも注意されることが多かった。と思いました。一人一人の心情を思い図ることはむづかしいと感じました。

【編集後記】今まで花粉症の症状が出なかった私も今年は花粉が多いせいか、鼻水が止まりません。花粉が少なくなるまで玩具探しの旅はいったんお休みです。by 内山